

平成29年10月12日

都内私立中学高等学校
校 長
理 科 担 当 教 諭 殿
関 係 教 職 員

一般財団法人東京私立中学高等学校協会
会 長 近藤 彰郎
東京私学教育研究所長 須藤 勉
理数系教科研究会委員長 鈴木 弘
(共催：公益財団法人東京都私学財団)

理数系教科研究会（理科・地学）「講演会」のご案内

「炭素 14 で読み解く」

時下、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

理数系教科研究会（理科・地学）では今年度、東京大学大気海洋研究所の横山 祐典 先生をお迎えして講演会を実施する運びとなりました。

当日は「炭素 14 で読み解く」という演題でお話しいたします。本年 3 月放送の NHK『サイエンス ZERO』に横山先生がご出演した際ご紹介されたように、近年の測定精度向上により、炭素 14 は、従来の年代測定に加え、薬学・生態学など新たな分野におけるトレーサとしての応用も始まっています。

また、1947 年にシカゴ大学のウィラード・リビー（のちにノーベル化学賞受賞）が放射性炭素による年代測定法を発見してから、70 年目という節目にあたる今年、大変ホットなトピックとなっています。

先端的な応用事例など最新研究の一端を含めて「炭素 14 の現在」をお話しいたします。地学を専門とする教員のみならず、生物や化学の教員にとっても興味深い内容であり、生徒たちに科学の面白さを伝えていくうえでも大変参考になる企画かと存じます。校務ご繁多な折とは存じますが、お誘い合わせのうえご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 平成29年12月1日（金）18:00 ~ 20:00（予定）
2. 会 場 アルカディア市ヶ谷（私学会館）会議室 千代田区九段北4-2-25 TEL 03(3261)9921（代）
3. 講 師 横山 祐典 先生（東京大学大気海洋研究所 高解像度環境解析研究センター教授）
4. 演 題 「炭素 14 で読み解く」

太陽系の外から入ってくる高エネルギーの宇宙線によって、地球の大気で作られる炭素 14 は、炭素 12 に対し、わずか 1 兆分の 1 の存在度です。しかし、あまねく地球表層に広がっていることと、微量でも測定できる手法が開発されてきたことから、炭素 14 を使った研究は、新しいフェーズに入っています。特にトレーサとしての有効性は環境動態の解明などに力を発揮しています。今回は南極氷床の変化や太平洋の循環、クジラやイワシなど海洋生物の回遊履歴の復元など、リビーがノーベル賞を受賞した時には想像できなかったような事例について、実際の研究を例に紹介します。

- 5. 定員 50名 (申し込み順 ⇒ 定員になり次第締め切ります)
- 6. 参加費 無料 (当協会会員各校の拠出金と (公財) 東京都私学財団からの補助金で運営しています)
- 7. 運営委員 山田 直樹 (海城中学高等学校)
- 8. 申込方法 11月24日 (金) までに下記宛に Web もしくは FAX にてお申込みください。

URL [http:// k.tokyoshigaku.com](http://k.tokyoshigaku.com)

東京私学教育研究所

検索

東京私学教育研究所 理数系教科研究会 担当：板澤・溝口・並木・渡辺・細川

TEL 03-3263-0544 FAX 03-3263-0560

《案内図》



■交通のご案内

- 地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 (1またはA1) 出口
- 地下鉄 新宿線
市ヶ谷駅 (A4またはA1) 出口
- JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅
上記改札・出口から徒歩約2分

切り取らずにそのままFAXしてください。送り状は不要です。

理数系教科研究会(理科・地学)「講演会」参加申込書 [12月1日 (金) 実施]

学 校 名	ふりがな 氏 名

上記の通り参加申し込みいたします。

東京私学教育研究所 御中

平成29年 月 日

校 長 _____ (印)

※FAX受理、受付完了等の連絡は省略いたします。(本申込書をお送りいただいた時点で受付完了です)
申込確認が必要な方は、下記にご記入ください。後日、申込書受理書をFAXでお送りします。

・希望する

理由等	FAX番号:
-----	--------